

## 2 次試験 小論文題(1000 字以上、1200 字以内)

### [小学校教員]

**20 年〔子どもたちの安全・安心〕** 自然災害や事件・事故の発生等、子供たちを取り巻く環境が日々変化する中で、**子供たちの安全・安心**を確保することは、学校が最優先して取り組むべきことです。

あなたは、小学校教員として、児童に、自他の命をかけたがないものとして尊重する姿勢や、自らの命を自ら守ろうとする主体的な態度を身に付けさせるために、どのように取り組みたいと考えますか。具体的に述べなさい。

**19 年〔道徳の授業〕** 今年度から、小学校において「特別の教科 道徳」が全面実施されています。教科化にともない、特別の教科道徳では、教科書を使用し、評価は記述により表現することになりました。また、「考え議論する道徳」の充実や道徳的実践力の育成が求められています。

あなたは小学校教員として、特別の教科**道徳の授業**において、特にどのようなことを重視し、どのような工夫を行いますか。具体的に述べなさい。

**18 年〔人工知能（A I）〕** 近年、情報化やグローバル化といった社会変化が、これまでの予想を超えて進展しています。なかでも、**人工知能（A I）**の進化は目覚ましく、多くの分野でA Iが人間の活動に取って代わるといわれています。しかしながら、どれだけA Iが進化しても、思考の目的を与えたり、目的のよさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の強みであるといわれています。

このような中、未来の創り手となる子どもたちに、あなたは小学校教員として、どのような力を身に付けさせることが必要だと考えますか。また、その力を身に付けさせるために、どのように取り組みますか。具体的に述べなさい。

**17 年A〔身に付けさせる学力〕** 愛媛県では、平成 25 年 3 月に策定した「愛媛県学力向上五か年計画」に基づき、「学校教育の質の保証・向上」を目標に、「チーム愛媛」として、より一層学力の定着と向上に取り組んでいます。

あなたは、児童・生徒に**身に付けさせる**必要のある**学力**とはどのようなものであると考えますか。また、その学力を育むために、あなたは教員としてどのように取り組みますか。校種を踏まえて、具体的に述べなさい。

**16 年B〔コミュニケーション能力二つ〕** 国際化の進展に伴い、多様な価値観を持つ人々と協力、協働しながら社会に貢献することができる創造性豊かな人材を育成することが求められている中、学校教育においても、児童・生徒の**コミュニケーション能力**を育むことが重要であるといわれています。

あなたが、児童・生徒に身につけさせたい**コミュニケーション能力**とはどのような能力ですか。具体的に**二つ**あげなさい。また、それぞれその能力を育むために、あなたは教員としてどのような取組を行いますか。自分の目指している職や校種を踏まえて、具体的に述べなさい。

### [中学校教員]

**20年〔人生を切り拓いていく力〕**今の子供たちが成人して社会で活躍する頃には、社会構造や雇用環境が大きく変化するなど、予測が困難な時代を迎えるだろうと予想されています。

あなたは、中学校教員として、生徒に、生涯にわたって学び続け、他者と協働しながら自らの**人生を切り拓いていくための基盤となる力**を育むために、どのように取り組みたいと考えますか。具体的に述べなさい。

**19年〔主体的・対話的で深い学び〕**平成29年3月中学校学習指導要領が告知され、今年度から3年間の移行期間を経て、平成33年度から全面実施の予定になっています。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が求められています。

あなたは、中学校教員として、「**主体的・対話的で深い学び**」をどう捉え、その実現に向けた授業改善にどのように取り組みますか。具体的に述べなさい。

**18年〔キャリア教育〕**愛媛県教育委員会では、今年度から、中学生段階において、愛媛県内の、「スゴ技」企業を含む事業所の協力を得て、職場体験学習に、五日間集中的に取り組む「えひめジョブチャレンジU-15」をモデル的に実施しています。

「**キャリア教育**」について、あなたは中学校教員として、子どもたちにどのような力を身に付けさせることが必要だと考えますか。また、その力を身に付けさせるために、どのように取り組みますか。具体的に述べなさい。

**17年A〔身に付けさせる学力〕16年B〔コミュニケーション能力二つ〕**…小学校教員と共通課題

### 〔高等学校教員〕

**20年〔深い学び〕**高等学校学習指導要領解説総則編(平成30年7月)には、主体的・対話的で**深い学び**の実現に向けた授業改善を進める際の留意事項を記載しています。その中で「深い学びの鍵として『見方・考え方』を働かせることが重要になる」とし、各教科等の『見方・考え方』とは「その教科等ならではの物事を捉える視点や考え方」であり、「教科等の学習と社会をつなぐものであることから、生徒が学習や人生において『見方・考え方』を自在に働かせることができるようにすることにこそ、教師の専門性が発揮されることが求められる」と説明しています。

あなたは、なぜ今、上記の「深い学び」が必要だと考えますか。また、生徒が「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにするため、あなたは担当する授業においてどのような取組をしたいですか。あなたが受験している教科・科目を踏まえて、できるだけ具体的に述べなさい。

**19年〔人材育成〕**平成30年6月、文部科学省が「Society5.0に向けた**人材育成**～社会が変わる、学びが変わる～」を取りまとめました。そこでは、将来、人工知能(AI)やロボットが人間の仕事を代替する社会が訪れると予測すると同時に、その中で、人間らしく豊かに生きていくためには、次のような力が必要であると述べています。

- ① 文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ② 科学的に思考・吟味し活用する力
- ③ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力

このうち一つを取り上げ、なぜ身に付けさせる必要があるかに触れた上で、あなたは、高等学校教員として、授業の中で、その力を身に付けさせるためにどのように取り組むか、受験している教科・科目を踏まえて具体的に述べなさい。

**18年〔地域との連携〕**愛媛県教育委員会では、平成28年度から、**地域と連携**しながら学校の魅力化プロジェクトを推進する「地域に生き地域とともに歩む高校生育成事業」を通して、生徒の企画力・実践力を高め、地域への愛着を持った生徒の育成に取り組んでいます。

あなたは、生徒の地域への愛着を育むために、高等学校教員として、どのように取組をしますか。あなたが住んでいる地域やかつて住んだことのある地域の魅力や特徴について触れた上で、具体的に述べなさい。

**17年C〔ICTの活用〕**現在、中央教育審議会では、各教科等の学習において、情報活用能力を育むとともに、それぞれの教科等の特性に応じて**ICT**を効果的に**活用**することについて検討されているところです。

あなたは、児童・生徒の、授業への理解度を高めたり、技術の習得を促進したりするために、授業において**ICT**をどのように活用しますか。また、その際、どのようなことに留意しますか。受験している校種を踏まえて、自分の考えを具体的に述べなさい。

**16年B〔コミュニケーション能力二つ〕** 小学校教員と共通課題

#### **〔特別支援学校教員〕**

**20年〔個別の教育支援計画と指導計画〕**障がいのある子どもへの切れ目ないし支援の充実を図るため、学習指導要領には**個別の教育支援計画と個別の指導計画**の作成及び活用について示されています。

この個別の教育支援計画と個別の指導計画について、それぞれの特徴及び相互の関連性を踏まえ、その有用性について、あなたの考えを具体的に述べなさい。

**19年〔合理的配慮〕**平成28年4月より「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、不当な差別的取扱いが禁止されるとともに、公立学校等においては「**合理的配慮**」の提供が義務付けられました。

新しい概念である「合理的配慮」について、その留意点に触れながら、あなたの考えを具体的に述べなさい。

**18年〔交流及び共同学習〕**国において、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の形成に向けた取組が求められていることから、愛媛県教育委員会では、「特別支援学校友達がいっぱいプロジェクト事業」において、障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶ交流及び共同学習の機会を設けるなどの取組を実施しています。

あなたは、特別支援学校教員として、「**交流及び共同学習**」においてどのような取組を行いますか。子どもたちに身に付けさせたい力について触れた上で、具体的に述べなさい。

**17年C〔ICTの活用〕**…高等学校教員と共通課題 **16年B〔コミュニケーション能力二つ〕**…小学校教員と共通課題

#### **〔養護教員〕**

**20年〔健康問題の多様化・複雑化〕**近年、メンタルヘルスの問題やアレルギー疾患の増加など、児童生徒の**健康問題が多様化・複雑化**している中、学校にはこれらの問題に適切に対応することが求められています。

あなたは、養護教員として、上記の問題に対してどのように取り組みたいと考えますか。具体的に述べなさい。

**19年〔これからの養護教諭〕**文部科学省では、平成28年7月に「**これからの養護教諭・栄養教諭**の在り方に関する検討会議」を設置し、教諭とは異なる専門性を生かした児童生徒の支援についての検討がなされ、平成29年3月には、「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」、「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」をそれぞれ取りまとめています。

あなたは、教諭とは異なる専門性を生かした児童生徒の支援にどのように取り組みますか。自分の目指している職を踏まえて、具体的に述べなさい。

**18年〔持続可能な社会〕****持続可能な社会**を創造していくために、地球規模の課題を自らの問題ととらえ、身近なところから行動を起こす力を身に付け、新たな価値観や行動を生み出すESD(持続可能な開発のための教育)が進められてきました。また、2015年の国連サミットでは、SDGs(持続可能な開発目標)が採択され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、貧困、飢餓、保健、ジェンダーなどの17の分野の目標が示されました。

あなたは、自分が目指している職を通して、今後の国際社会を生きる子どもたちに対して、食や健康に関する教育をどのように実践する必要があると考えますか。具体的に述べなさい。

**17年〔チームとしての学校〕**文部科学省の中央教育審議会が平成27年12月に出した答申「**チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について**」には、「『**チームとしての学校**』の体制を整備することによって、教職員一人一人が、自らの専門性を発揮するとともに、専門スタッフ等の参画を得て、課題の解決に求められる専門性や経験を補い、子供たちの教育活動を充実していくことが期待できる」とあります。

あなたは、「チームとしての学校」の一員として、どのようなことに取り組みますか。自分の目指している職を踏まえて、具体的に述べなさい。

**16年B〔コミュニケーション能力二つ〕** 小学校教員と共通課題

#### **[栄養教員]**

**20年〔健康問題の多様化・複雑化〕**近年、アレルギー疾患の増加や肥満・痩身傾向など、児童生徒の**健康問題が多様化・複雑化**している中、学校にはこれらの問題に適切に対応することが求められています。

あなたは、栄養教員として、上記の問題に対してどのように取り組みたいと考えますか。具体的に述べなさい。

**19年〔これからの栄養教諭〕****18年〔持続可能な社会〕****17年〔チームとしての学校〕** 養護教員を栄養教員に読み替える

**16年B〔コミュニケーション能力二つ〕** 小学校教員と共通課題